

入選

藤嶋 柚乃 (ふじしま ゆずの) 下柚木小 4 年生

作品名:オボレンジャーとコウモリができない私

図 書:願いがかなうふしぎな日記

みなさんは苦手なことがありますか？

わたしは鉄ぼうが苦手です。

鉄ぼうのコウモリをやっていて、落っこちて頭をぶつけました。それから今までずっとコウモリをする時、こわくて固まってできなくなります。

友達や先生がはげましてくれるけど、ぎゃくに、重荷に感じてプレッシャーで心が痛くなります。

みんなはできているのに私だけできなくて、今考えてるだけでも切ない気持ちです。

主人公の井上君は水泳が苦手です。息つきができなくて「オボレンジャー」と言われていつもバカにされています。苦手なことをするといやな場面がうかんで、すぐにあきらめてしまうのです。

そんな井上君は「もうオボレンジャーはうんざりだ！」と思ったのでしょう。夏休み中市営プールや海で毎日泳ぐ練習をしました。

次の泳力テストでは二十五メートル泳ぎたい、ぜっ対できるようになると思って努力しました。

私は、毎日練習する井上君の姿にあこがれました。すぐあきらめたり、あきてしまう私には、とてもそんなことはできないと思いました。

そして、いよいよ井上君の待っていた泳力テストがやってきました。

井上君はもう「オボレンジャー」といわれてもビビったりしません。それは、毎日練習して自分を信じているからです。

井上君は自分と向き合う勇気があります。それだけでなく、毎日練習して努力を積み重ねました。そして、四十メートルも泳げるようになりました。

私はこの本をよんで、自分の苦手なことと向き合わないとは答えは出ないと学びました。

自分と向き合わないといつまでもできないままだし、自分がきらいになってしまいます。

こわくてにげ出したくなったり、自分はできないという気持ちになるからです。

私は、二学期から休けい時間や、週末に鉄ぼうの練習をします。そして、いつか鉄ぼうができるようになりたいです。